

Ⅱ-3 担い手の確保

基盤整備を契機とした担い手の確保

石狩管内石狩市の高岡地区は、水稻と小麦を主体に馬鈴しょ、スイートコーンなどを作付けする水田畑作地帯でしたが、畑地かんがいの導入を契機に、ミニトマトなど施設園芸の取組が盛んとなり、土地や機械への投資が少ないため、新規就農者が増えています。

◆整備による地域農業の変化

道営畑地帯総合整備事業 高岡地区(H9~H13)

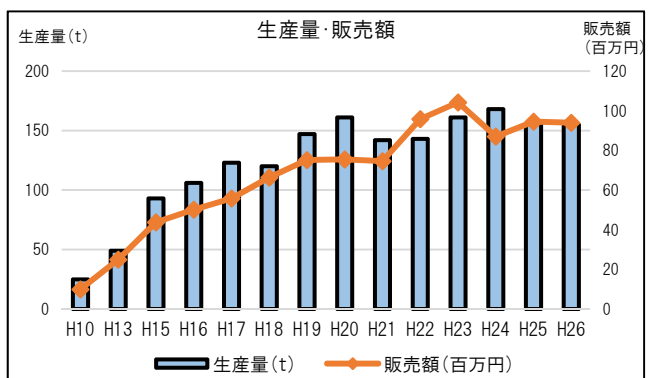
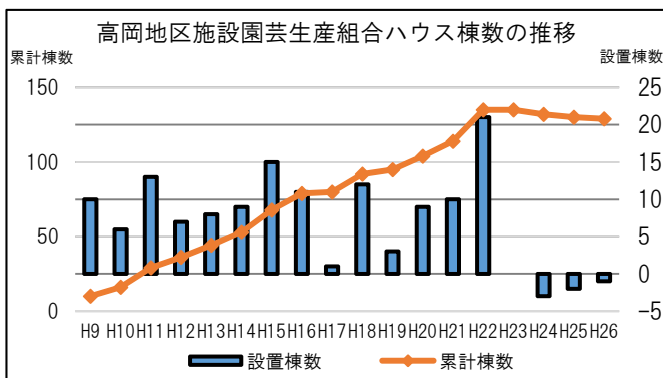
受益面積:198ha

【 工事概要 】

- ・畑地かんがい 180ha
安定した用水確保と散水労力を節減
- ・客土 96ha
良質な土の搬入
- ・暗渠排水 100ha
水はけの悪い畑の排水改良
- ・農道 52ha
農作業機械の通行や荷傷みの防止



多孔管による散水施設を導入したトマトハウス



事業完了時(H13)からハウス棟数、販売額は約3倍に増大

出典:JAいしかり調べ

◆地域農業の新たな動きが新規就農を促進

新規就農者

- ・土地・機械の投資が少ない
- ・生産組合の指導・助言があり取り組み易い環境
- ・ブランド化により安定した収入に期待



整備後(H13~)5戸が新規就農し生産組合に加入

高岡施設園芸生産組合

- ・H9設立、参加農家10戸
- ・生産農家が「エコファーマー」の認定取得(H14)
- ・生産組織として「YES!clean」の認定を取得(H15)
- ・ミニトマトの地域ブランド「いしかりDECHU!」の販売



石狩産ミニトマト「いしかり DE CHU！」